出展作家について



梅田哲也 | UMEDA Tetsuya

1980 年熊本県生まれ、大阪府在住。

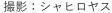
現地にあるモノや日常的な素材と、物理現象

受賞者インタビュー (令和6年7月収録)▶ https://tokyocontemporaryar taward.jp/winners/2024-2026/winner02_interview.ht

ml#interviewLink



としての動力を活用したインスタレーションを制作する一方で、パフォーマ ンスでは、普段行き慣れない場所へ観客を招待するツアー作品や、劇場の機 能にフォーカスした舞台作品、中心点を持たない合唱のプロジェクトなどを 発表。先鋭的な音響のアーティストとしても知られる。





「wait this is my favorite part 待ってここ 好きなとこなんだ」展示風景(ワタリウム 美術館、東京、2023) 撮影:天野祐子

近年の個展に「wait this is my favorite part 待ってこ こ好きなとこなんだ」(ワタリウム美術館、東京、 2023)、「梅田哲也 イン 別府『〇滞』」(別府各所 ほか、大分、2020)など。また、パフォーマンス公演 として「Kunstenfestivaldesarts 2017『Composite: Variations / Circle』」(ブリュッセル)など。



撮影:シャヒロヤス

呉夏枝| OH Haji

1976年大阪府生まれ、オーストラリア在住。 2012 年京都市立芸術大学美術研究科博士後期 課程研究領域染織修了。

受賞者インタビュー (令和6年7月収録)▶ https://tokyocontemporaryar taward.jp/winners/2024-2026/winner01_interview.ht ml#interviewLink



主に、織、染、ほどくなど、繊維素材にまつわる技法を用い、写真、テキス ト、音声などを併用したインスタレーション作品を制作。在日韓国人三世の 出自を背景に、言葉にされなかった個人の記憶一沈黙の記憶一をめぐる制作 や、ワークショップを通しての対話や経験をもとに、記憶の継承の可能性を 探求している。現在は、日本とオーストラリアを拠点に活動している。



《彼女の部屋にとどけられたもの》 2019 撮影:根本 譲 画像提供:水戸芸術館現代 美術センター

近年の展覧会に、「総合開館30周年記念 遠い窓へ 日本の新進作家 vol.22」(東京都写真美術館、2025)、 「アジア・パシフィック・トリエンナーレ11」(クイー ンズランド州立近代美術館、ブリスベン、オーストラリ ア、2025)、「ANTEPRIMA × CHAT Contemporary Textile Art Prize 2024」(CHAT、香港)、「六本木ク ロッシング 2022 展:往来オーライ!| (森美術館、 東京)など。